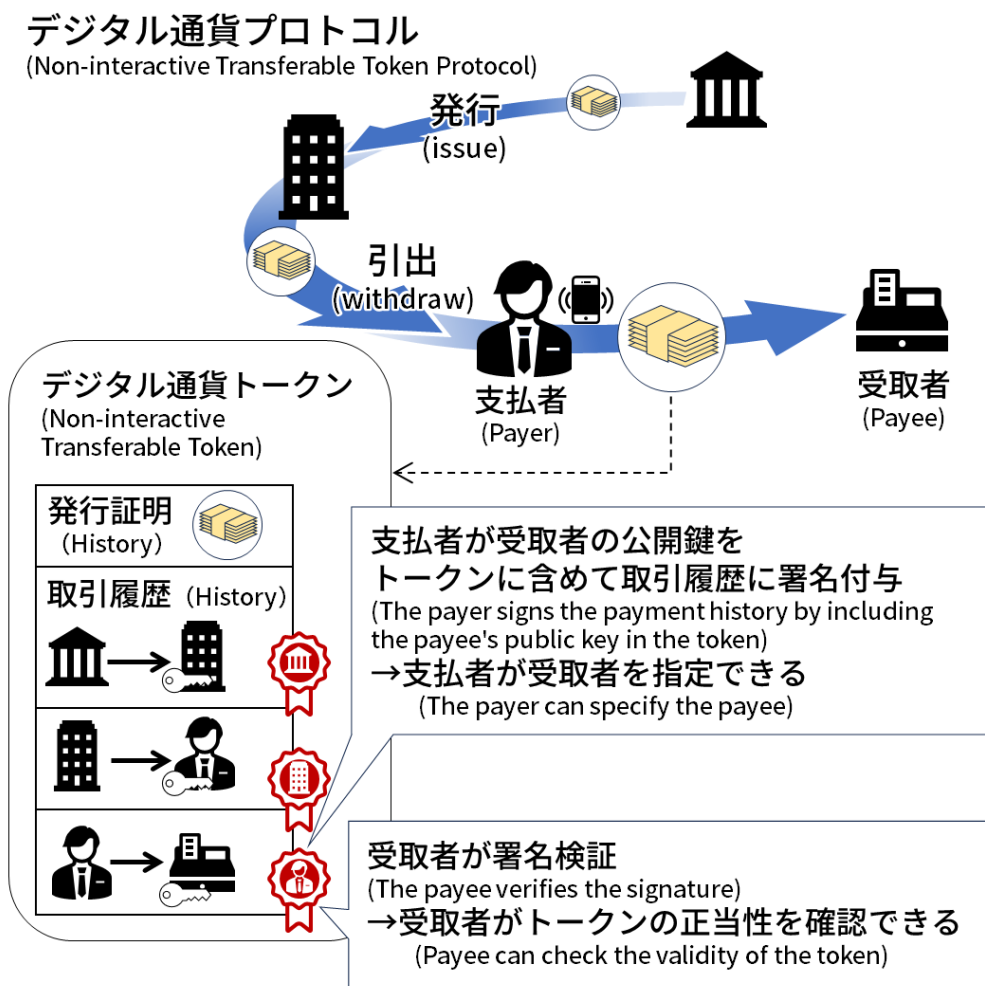


安全な価値移転を実現するデジタル通貨プロトコル

通貨や有価証券などの価値を電子的に表現し
二者間での安心・安全な受け渡しを可能にします

#顧客体験価値向上 #レジリエンス



///技術課題

既存システムの取引では仲介者としてDB（台帳）が必要なため、ユーザ数に比例して設備コストが増大し、かつ障害に弱いという課題があります。

///研究目標

電子的価値を安心・安全に受け渡す技術により、通貨や有価証券など多様な価値を交換できる新しい社会インフラを実現します。

---要素技術

- 電子的価値を署名付きデータで表現し、発行・利用ごとに署名を付与することで正当性を検証できる独自のトークン型プロトコル
- 署名付与と検証を利用者デバイス間のみで繰り返すことで電子的価値の連続的な移転が可能

---適用ビジネス

金融分野において、キャッシュレス決済やサプライチェーンファイナンスなどに適用（成果提供予定：2025年予定）

---市中技術差異点

- 従来技術（台帳型）が取引ごとに台帳へのアクセスを必要とするのに対して、本技術は台帳を必要とせず、利用者デバイス間で直接かつ即時決済が可能
- 本技術を利用したインフラはユーザ規模の影響を受けにくく、設備コストの抑制が見込める